

令和3年度 さいたま市立三室中学校 学校関係者評価書

さいたま市立三室中学校

学校関係者評価委員長 星野 栄一 ㊞

1 学校関係者評価の実施体制

- (1) 構成人数 9人
- (2) 実施回数 2回

2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

○第1回委員会

- ・前年度の成果と課題を受けての、令和3年度の学校教育目標・教育全体計画を基に、学校経営方針や取組、生徒・教職員の状況等の報告がなされた。また、三室中学校いじめ防止基本方針の説明を受けた。
- ・来年度から実施される学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の説明がなされた。
- ・「三室中の生徒にどのような力を身に付けさせたいか。」について熟議が行われた。委員からは、「郷土愛が根付いている。だからこそ、その気持ちをはぐくんでほしい。」「はっきりと自分の意見が言える人になってほしい。」「自分の言葉に責任をもてる人になってほしい。」「三室中がそういう子どもたちを育てる居場所であり続けてほしい。」などの意見が出された。

○第2回委員会

- ・学習指導、生徒指導等についての報告を受けた。学習面では、ICTを活用した生徒の読解力向上に向けた取組、成果と課題の報告を受け、今後も一層の指導方法の工夫とテクノロジーを活用したよい授業の取組の継続を要望した。生活面では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、様々な制約の中で学校教育活動を行わざるを得なかったが、概ね落ち着いた学校生活が送れていることが確認できた。生徒指導面では、配慮を要する生徒への個の状況に応じたきめ細やかな指導と保護者との円滑なコミュニケーションの継続を要望した。いじめについても報告されたが適切に対応し、解消していることが確認できた。
- ・学校評価（生徒・保護者）についての報告がなされた。学習面において、保護者は「一人ひとりの生徒の能力やがんばりを生かす授業を行っている」の質問について肯定的な回答が昨年度から18.8%増加し31.9%となった。また、生徒の「授業の中で分かった』『できた』という満足感を味わっていますか」の質問については、肯定的な回答が昨年度からさらに増加する結果となった。一方で、数値は向上しているものの、各種調査等において無回答（無解答）の場が目立つとの報告があったため、自信をもって自分の考えを述べることのできる生徒の育成について要望した。
- ・生徒指導面において、保護者は、「いじめや問題行動などについて、実態を見逃すことなく、適切に指導している」の質問について肯定的な回答が、昨年度から15.9%増加し28.5%になった。また、「生徒の悩みごとなどについて、しっかり聞いてくれていますか」について、生徒からの肯定的な回答は、昨年度から1.9%上がり9.4%であった。今後も、生徒に寄り添った指導を要望した。
- ・地域や保護者への情報提供面において、保護者は、「教育活動を保護者や地域に積極的に公開している」、「家庭や地域への連絡を分かりやすく行っている」の質問について肯定的な回答が、昨年度から12%上がり25%となった。引き続き、ICTを活用した情報発信の工夫について要望した。
- ・コロナ禍での生活においても、生徒が前向きに学校生活を送れていることに安心した。今後も、家庭・地域・関係機関・学校が連携し、開かれた学校づくりや、生徒の健全育成を推進してほしい。

【学校関係者評価を受けた学校の対応】

- 学力向上に向けて、全国及び市の学習状況調査等を用いて現状を分析し、指導方法の工夫・改善を行う必要がある。また、今年度配付された一人1台のタブレットを活用し、生徒一人ひとりの学習意欲を高める授業づくりを加速する必要がある。さらに、学校だけではなく、タブレットを家庭に持ち帰る環境を整え、家庭学習の充実を図る取組を進めたい。
- いじめや不登校の課題解決に向けて、教職員と生徒との豊かな人間関係に支えられた積極的な生徒指導を展開するとともに、生徒一人ひとりについて情報共有し、組織的に対応する体制をさらに強化したい。
- 校務の整理をより一層行い、教職員がゆとりをもって生徒一人ひとりに寄り添って対応できるように努めていく。

さいたま市立三室中学校長 津田 顕吾 ㊞